



松柏中学校アーカイブ通信 第12号 2024年7月1日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

池なのか？プールなのか？

生徒の「アーカイブコース」は、来週には市民図書館へ足を運び、地方紙から、1982年頃（つまり、現校舎が建った頃）の松柏中の記事や校区の情報を入手する活動を予定しています。

一方、「閉校記念誌」に向けたアーカイブ活動の方は、次々と提供される写真や情報にうれしい悲鳴を上げながら、次は整理という難関にぶつかっています。「閉校記念誌」については、事実関係を検証しつつ、生徒の取組を紹介するスペースを是非設けたいと考えています。予算や3校間の体裁のバランスを考慮し、紙幅に制約があるため、皆様からいただいた貴重な写真や情報、分析によって見いだしたネタの全てを紹介することは難しいと考えます。そこで、この「通信」で少しずつ情報を、歴史をひもといていけたらと考えました。



5月の連休前、右上の写真が学校に届けられました。皆様、いかがですか？私は建築中の旧校舎の写真に驚くとともに、手前の水面に注目しました。早合点した私は、「すわっ、これは千丈川か？」と、南北を正反対につかんでしまったのですが、もう1枚の左の写真を見て、「川じゃなくて、校地内に設けられているプールなのか？」と判断しました。校地の丑寅・良（うしとら）、つまり北東の隅で、今の体育館の位置ですね。



ところが、次の左下の写真を御覧ください。生徒会室に掲げられている航空写真で「昭和38年現在」と入っていました。「プール」が消えて、野球のバックネットになっています。今のプールの位置には校舎が建っており、プールが見当たらないのです。プールの謎です。

このアーカイブ活動を進めていく中で、多くの方から写真や情報を提供していただいているのですが、1960年代前半、つまり昭和36年から39年にかけての卒業生からは「北東の隅に池があった。」とそろって共通の証言をいただいたのです。昭和20年代の卒業生からは、「地元でこしらえた焼き物を洗う池だった。」などという証言もありました。「貯水池だった。」との証言も。

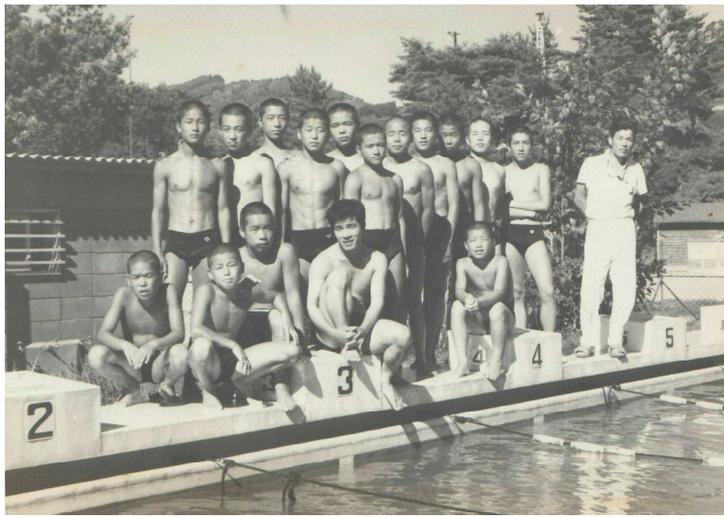
ところが6月下旬、立て続けてこんな証言がありました。「あの池には鯉や金魚がたくさん泳いでいたが、池を埋める際に、生徒がみんな家に持ち帰った。」というのです。しかも昭和39年頃に池を埋めたという情報も得ました。

6月末、ついに結論にたどり着きました。1枚のB4サイズの写真が見つかりました。右の写真です。「昭和39年度 バックネット落成記念」と書かれていました。併せて、手書きの当時の沿革史には、「バックネット完成（昭和40年3月10日）」と書かれていました。いかかですか。ということは、生徒会室にあった写真は「昭和38年現在」では少々早いということになります。昭和40年3月以降ですね。



もう一つの謎も解明しました。「プール」です。今のプール、というよりも松柏中のプールは、昭和47年（1972年）8月10日の完成を待たなくてはならなかったのです。つまり、開校以来四半世紀、松柏中にはプールがなかったのです。では、水泳の時間はどうしていたのでしょうか。水泳部の活動もです。

この点については昭和47年ですから、昭和40年代の卒業生からも証言を得ました。「千丈小のプールを借りて、授業や部活動を行っていた」のです。1964年度（昭和39年度）卒業の松柏中水泳部は、市内総体で各種種目を総なめにしたそうです。その時のメンバーの写真は、もちろん、千丈小のプールでの記念写真です。校地の北東にあった「池」の決定的な証拠の写真とともに、裏面を御覧あれ！



【1964年度の水泳部メンバー】



【「昭和24年」とのみ書かれた写真】…但し、昭和24年段階で今の松柏の地に校舎は建っていない。それまでは、松柏中はやはり千丈小学校の校舎を借りており、校地の埋め立て開始が昭和25年11月で、校舎の基礎工事が昭和26年の2月開始である。となると、この池は、松柏の地にもともとあったものだったのか？新たな謎が生まれた。